

会 議 要 録

附属機関又は 会議体の名称		第31回 豊島区地域公共交通会議
事務局（担当課）		都市整備部 都市計画課（地域公共交通G）
開催日時		令和7年3月25日（火）15時00分～16時30分
開催場所		豊島区役所 8階 議員協議会室
議 題		協議議案 地域公共バス「池07系統」の運行支援事業について 報告案件 (1) 池袋副都心移動システム推進事業（IKEBUS）について (2) 豊島区地域公共交通計画の策定について (3) 池袋駅東口駅再編整備について
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
出席者	委 員	太田勝敏（会長） 作井啓介、松本章宏、關田和弘、若田瑞穂、佐々木俊治、伊藤和弘、 山本昇、舟山明久、本田明広、塚田義信、齊木勝好、磯崎たか子、堀 江咲智子、近藤正仁 所属団体、役職名については会議資料の豊島区地域公共交通会議委員 名簿に掲載 <div style="text-align: right;">計15名</div>
	事 務 局	交通政策担当課長

事務局	<p>【協議議案】</p> <p>地域公共バス「池 07 系統」の運行支援事業について</p> <p>資料 1-1「地域公共バス「池 07 系統」の運行支援事業について」、 資料 1-2「地域公共バス「池 07 系統」運行状況調査の結果について」にて説明</p>
会長	<p>私も結果を評価しています。新しい年度の収支率はかなり苦しいということで。令和 6 年度が終わり、かなり厳しい状況にあります。地域公共バスもどのように運用するか考える必要があります。</p>
A 委員	<p>今年は収支率が上がり良かったと思ったのも束の間で、人件費の高騰が一番大きな課題だと思いますが、これからテコ入れ等を行う予定はありますか。</p>
事務局	<p>これまで囑託の方で運行していたところと全国的なドライバーの賃金の上昇もあり、必須の部分を抑えることは難しいと考えております。一方利用者数も、コロナ渦で一気に減って徐々に増えつつありますが、基準値を満たすことは難しいです。</p> <p>一つは利用者への周知として、パンフレットを引き続き工夫して関係施設に配架等を行いました。</p> <p>今は国際興業株式会社にご協力いただき、デュラララ!! というアニメとのコラボを実施しており、外装のラッピングやバス車内のジャックを行っています。また、少し前にはバンドリちゃんねるとコラボし、バス車内のジャックを行いました。多少なりともコラボが目的で乗車した方もいたと思われるため、今後もチャンスと捉えながら、沿線の利用者に加えて、目的を持って乗車いただけるようなコラボ等を考えていきたいです。</p>
B 委員	<p>事務局から説明があったように、運行経費の増大で収支率が悪くなる見込みがあります。</p> <p>私どもも従前から囑託の経費で試算を行っていましたが、実際には数年前からほぼ現役の乗務員で、人件費が逆ざやの状態になっていました。コロナ渦で退職者も相次ぎ、それに合わせた形でダイヤも減らしている状況です。</p> <p>昨年は待遇の改善のため、現職者の雇用維持と新規入社者の拡大を図りました。退職者の歯止めは一定の効果があったと判断しております。</p>

<p>会長</p>	<p>入社者については、新たに大型 2 種免許を取得する層が増加しないため、実際には入社者であっても運送会社からの転籍あるいは同業他社からの転籍で、運転手の分母が増えていない状況にあります。</p> <p>同業他社との競争になっていますが、他の事業者に合わせて人件費を上げないと事業が成り立たないため、今後も持続可能な運行を推し進めるために、従業員の運転手の採用に全力で取り組みますのでご理解を賜りますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>本件について議決を取ります。区からの説明を受けて、地域公共バス「池 07 系統」の運行支援事業について、継続運行基準を満たしているため令和 7 年度についても継続運行する、とすることで承諾いただけますでしょうか。挙手をお願いいたします。</p> <p>(挙手多数)</p> <p>それでは継続運行とさせていただきます。</p>
<p>事務局</p>	<p>【報告案件】</p> <p>(1) 池袋副都心移動システム推進事業 (IKEBUS) について 資料 2「池袋副都心移動システム推進事業 (IKEBUS) について」にて説明</p> <p>※ダイヤ改正については WILLER EXPRESS 株式会社より説明</p>
<p>事務局</p>	<p>(2) 豊島区地域公共交通計画の策定について 資料 3「豊島区地域公共交通計画の策定について」にて説明</p>
<p>B 委員</p>	<p>今資料を拝見して、早速令和 7 年度から基礎調査を進めると思うのですが、その際には需要の掘り起こしだけでなく供給サイドである事業者側の事情も重視していただければと思います。</p> <p>特に現在の担い手不足の問題を考えまして、供給の裏付けがないまま需要だけを抽出すると、願望のみが広がって実現性を担保できない可能性がございます。</p> <p>他の自治体の例として、供給サイドの事情が置き去りにされると、IT や DX、MaaS、グリーンスローモビリティといった、目立つような施策が並んで供給の裏付けがない計画になってしまいます。</p> <p>公共交通を取り巻く最大の問題は担い手不足です。持続可能性の確保を</p>

	<p>最重点課題に掲げ、策定を担当する業者のディレクションをお願いするとともに、当社もその際は全面的に協力させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>おっしゃる通り、供給サイドと需要サイドが一致するといいですね。私の方から先ほどこちよっと公共交通とは何かということで、自転車シェアリングも調べて検証して、きちんと評価を主体的にしてもらいたいです。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず国際興業株式会社からいただいたご意見はおっしゃる通りで、実際にドライバーが不足する中でどのように実施するか、一方で新しいモビリティばかりに着目していくことではないと思います。</p> <p>現状の公共交通事業者が、どのように対応できるか議論していただき、実現可能な地域公共交通計画を立てていきたいです。現状の公共交通事業者で対応できないようなところは話を聞いた後、今会長がおっしゃったシェアリング等も含めて既存のものでどのように対応するか考えていきたいと思っております。実際に各地点の乗車人数など、データの提供もご協力いただきたいと考えております。</p> <p>会長のおっしゃっていたシェアリング自転車の調査につきましても、調査の中で検討していきたいと考えております。</p>
<p>事務局</p>	<p>(3) 池袋駅東口駅再編整備について 資料4「池袋駅東口の再編について（駅前広場の再整備等）」にて説明</p>
<p>C委員</p>	<p>特に池袋の西口の再開発について都市計画決定したということですが、交通広場に関して、バス事業者やタクシー事業者にも事情があります。バスドライバーもトイレや休憩所が欲しいという声も聞きます。交通広場がどのように利用されるのか、協議会を設けて区として交通整理していただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>これまでも皆様方とお話しした通り、案内所やトイレ、休憩所等をセットで整備できるところが、今回の民間再開発事業とセットでできるメリットの一つと考えております。その点もしっかりと事業者の方にも伝えてありますので、完成のときはしっかりできるよう調整していきたいと思っております。</p>

D委員	<p>他の事業者と同じような意見になってしまいますが、自社のバスが乗り入れております。</p> <p>池袋西口が終点になっておりまして、渋谷や浅草など、少し距離が長い運行をしておりますので、乗務員の休憩がここで必要になります。そのために必要な施設やバスの待機場所が必要で、バス事業者として、この形状で運用できるのか照会をいただきたいです。今、個別に調整をされると聞きましたが、会議体を設置するのでしょうか、それとも個別に関係の調整をするのでしょうか。</p>
事務局	<p>池袋西口は一番路線の多いところですので、引き続きご協力をお願いいたします。先ほど個別に、と申し上げたのは、この公共交通会議の中で、先ほどの交通計画のようにお諮りするのではなく、今東口は東口でワーキンググループ等別の会議体を作成する予定ですので、そちらで諮りつつ、個別にご意見をいただく場も設けながら進めていきたいと思っております。</p>
D委員	<p>ぜひワーキング等検討の場にも構成員として加えていただきたいと思っておりますので、ご検討の方宜しく申し上げます。</p>
B委員	<p>今、他の委員からご意見を頂戴しまして、弊社でもやはり待機スペース、あとそれに付随したトイレでありますとか、そういったものも設備を要望させていただきます。</p> <p>また他の自治体では、待機スペースが駅前広場から削られて、方面別の待機場所を一緒にされており、かなり現場で苦勞している事例もございます。今ある施設の確保を前提にすると同時に、両立は難しいですが歩行者空間の拡大検討いただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>各事業者とそれぞれ個別に対応したうえで、全体として行っていただければと思います。</p>
事務局	<p>【その他】</p> <p>今回説明した法定協議会、地交会は今度の7月くらいに、先ほど申し上げました法定協議会という形で、鉄道事業者や調査検討委託事業者等を迎えて、交通計画のキックオフを行う会議を設けさせていただければと</p>

	<p>考えております。</p> <p>事業者が6月頃決まる見込みですので、事業者のご挨拶やスケジュール感等を共有しながら行わせていただければと思います。</p>
<p>提出された資料等</p>	<p>【資料】</p> <p>資料 1-1 地域公共バス「池 07 系統」の運行支援事業について</p> <p>資料 1-2 地域公共バス「池 07 系統」運行状況調査の結果について</p> <p>資料 2 池袋副都心移動システム推進事業（IKEBUS）について</p> <p>資料 3 豊島区地域公共交通計画の策定について</p> <p>資料 4 池袋駅東口の再編について（駅前広場の再整備等）</p> <p>【参考資料】</p> <p>参考資料 1 豊島区地域公共交通計画策定に向けた調査検討委託 プロポーザル実施要項</p> <p>参考資料 2 第 30 回 豊島区地域公共交通会議の会議要録</p> <p>【その他資料】</p> <p>・委員名簿、各種パンフレット</p>